



平成 23 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 R I S E
代表者名 代表取締役会長兼社長
川畑 喜代之
(J A S D A Q ・ コード 8836)
問合せ先 コーポレート統括部
総務部長 杉 山 顕 士
(TEL : 03-5283-0851)

業績予想の修正および営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は平成 23 年 5 月 13 日に発表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間の業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正
（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	220	△60	△57	△57	△6 円 49 銭
今回発表予想（B）	187	△66	△35	△35	△5 円 98 銭
増減額（B－A）	△33	△6	22	22	—
増 減 率 （ % ）	△15.0	—	—	—	—
（ご参考）前期第 2 四半期実績 平成 23 年 3 月期第 2 四半期	285	△59	△57	△250	△1 円 06 銭

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間は、引続き固定費の削減に努め、福島県郡山市での宅地分譲事業、賃料収入を収益の柱として事業を推進しております。

売上高につきましては、賃料収入については当初予想通りに推移しておりますが、宅地分譲事業に関しましては、東日本大震災発生後、福島第 1 原子力発電所事故の影響が不透明なことから顧客の住宅買い控えが続いており、この為売上高は当初予想を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高減少により当初予想を下回る見込みであります。経常利益、四半期純利益に関しましては、滞留債権の回収が進み貸倒引当金戻入額が 25 百万円発生しそれぞれ当初予想より上回る見込みであります。

復興策を盛り込む第 3 次補正予算の執行や、福島第 1 原子力発電所事故の収束に向けては、原子炉を冷温停止に持ち込む工程表の「ステップ 2」の年内終了が視野に入り、除染作業も開始され復興に向けての諸施策が急ピッチで進められております。この様な環境に対応すべく当社は、郡山地区での販売体制やマーケティング、販売手法等について抜本的に見直しを実施しているところであり、通期の業績予想の修正に関しましては、今後の見通しが固まり次第公表させていただく所存でございます。

- ※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上